

9/17 福

# 働稼再飯大

## 住民説明会の参加低調

20日に避難計画や安全対策提示

### 5年前の半分以下

関西電力大飯原発3、4号機が立地するおおい町の地元同意に向けた住民説明会が二十日夜、同町本郷の総合町民センターで開かれる。内閣府が事故に備えた避難計画の概要を明らかにし、関電が安全対策を説明する予定。だが、区長などを除く一般住民の参加は定員の半数にとどまるなど、関心の低さをうかがわせる状況だ。 Ⅱ 関連②面 (中崎裕、山谷征裕)

町は説明会に向け、区長や商工団体代表者らに加え、五十人を定員に一般町民の参加を募集。募集期間が六月二十一日から一週間と短かったためか、応募は二百人程度で、五年前の再職者を含めても参加者は計

稼働前に開かれた説明会の半分以下だ。説明会では、内閣府が大飯原発での事故を想定した広域避難計画の概要を説明する予定だが、町民への案内チラシには書かれていない。避難計画は、さまざまな

課題が浮かんだ昨夏の高浜原発事故に備えた避難計画の見直し作業と並行し、関係自治体などと協力し、大飯原発での事故時に備えて策定を進めてきた。内閣府によると、募集開始前の六月十五日に事務レベルでの案がまとまっていたという。また、町は今月四日にケーブルテレビで原子力規制庁が作成した審査の解説ビデオを放送し、町民を対象に規制庁への質問を受け付けているが、十四日時点で質問は三件のみ。一昨年に再稼働が議論された隣の高浜町では四十件以上寄せられており、低調さが際立っている。町は十八日まで規制庁の質問を受け付けている。